

Shokuhin News -2006 September-

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

山下貴稔(D)、呉白乙拉(M) 祝修了！&

Simona Vicas お別れパーティー

18年度前期をもって山下貴稔が博士後期過程、呉白乙拉が前期過程修了の運びとなった。なにはともあれ、無事修了(?)。9月25日には、2人の修了祝い&9月いっぱいルーマニアに帰国する研究生 Simona Vicas の送別会と称して、たこ焼き&お好み焼きパーティーを開催。関西の味を目いっぱい楽しんだ

山下さん、呉さんおめでとうございます！それからシモナさようなら！

山下貴稔パパになる！

山下貴稔先生(06年度博)に待望の長女が誕生！瑞貴(みずき)と名づけられたそうです。赤ちゃんの誕生と博士課程修了がほぼ同時期という、幸せいっぱいの山下パパ。その幸せを私たちにも御裾分けしてください☆



生まれたての瑞貴ちゃん。山下さん似なのか、奥様似なのか？とにかく可愛い！！

ACS National Meeting

9月10-14日、サンフランシスコでACS National Meetingが開催された。食品からは金沢先生と大井(D2)が参加。食品 OB からは水野雅史先生(神戸大学農学部園芸植物生理生化学教授)、榊

原啓之先生(静岡県立大学環境科学研究所生体機能学研究室助手)、福田伊津子先生(神戸大学農学部 食の安全・安心科学センター助手)が参加された。学会での模様は下記にて・・・

初めて国際学会での口頭発表。しかもアメリカ・・・無謀だとは思いつつ、せっかくの機会だからと参加を決めたのは今年の春。あれよあれよという間に月日は流れ、事の重大さに気づいたのは1ヶ月前でした。出発前日まで準備に追われ、出発日にスーツケースを買い、お店で荷造りをするというありえない出だしでしたが、いざアメリカへ！発表前日には原稿が飛んでしまうという悪夢を見て飛び起き、直前は顔面蒼白で会場内をウロウロ・・・。いまだかつてない緊張を味わいました。そしていざ発表！正夢・・・とまではいかないまでも、一瞬間の中が真っ白に！本気で会場から走って逃げ出そうかと思いました。しかし「終わってしまえばこっちのもの！」発表終了後は思いっきりアメリカを満喫して帰ってきました。

金沢先生をはじめ、水野先生、榊原さん、福田さん、大変お世話になり、ありがとうございました。

大井直美

受託研究員 永安牧子さん

10月から、クノール食品の永安牧子さんが受託研究員として我が食品に來られることになった。永安女史は、何を隠そう02年度修了の永安弘宣の妹さん！「なんとなくお兄さんに似てますよね～」と言うと、「全然似てません！！」と完全否定。でも耳が赤くなるところが似ているとの指摘も・・・。写真が無いのが残念です。しかし、キュウリは食べられるそうです。

(^ー^y

永安(妹)からコメントを戴きました。

初めまして。クノール食品の永安と申します。私はコーンやスープの機能性探索の仕事をしています。その中で、10月から、弊社とご縁の有る御研究室でコーンのポリフェノール分析をさせて頂いております。私の兄もこちらの研究室出身という小ネタもありますが、皆様今後ともよろしくお願い致します。

真夏の停電

いまさらですが、夏の停電ネタです。8月22日に夏の停電が行われた。昼ごはんに行ったついでにチョットだけ・・・といいながらアルコールと仲良しになり、ご機嫌になって帰ってきた今年の停電係、横山明幸(M1)。研究室で爆睡中に、食品ホモクラブ会長福田進也の餌食に・・・。



酔いつぶれた横山(左)を介抱する伊藤千夏(M2、右)



横山、危機一髪！！意識が無いのをいいことに、嬉しそうに添い寝をする福田進也(M2、上)

来月の食品 News

来月の食品 News は日本フードファクター学会の模様をお伝えします。乞うご期待！

Events

恒例の六甲山マラソンが12月16日(土)に開催されます。OB・OGの方の参加、大歓迎です！！参加していただけるOB・OGの方は shoku@kobe-u.ac.jp までご連絡ください。また、打ち上げのみの参加も大歓迎ですので、直前の場合は 090-9625-3101(後藤)までご連絡下さい。

ご参加お待ちしております！

論文・学会報告

学会発表)

232nd American Chemical Society National Meeting (September 10-14, 2006 San Francisco, CA)

○ Kazuki Kanazawa 「Finding out bioavailable phytochemicals to express beneficial activity on the health」 10 September, 2006, Abstract AGFD 9

○ Naomi Oi, Takashi Hashimoto and Kazuki Kanazawa 「De-conjugation of quercetin and cancer preventing activity in carcinogenic process」 11 September, 2006, Abstract AGFD 54

編集後記

大幅に発行が遅れてしまい、大変申し訳ありません。そろそろ忘年会のシーズンです。今年は飲みすぎて潰れないように気をつけなくては……。 大井直美(D2)